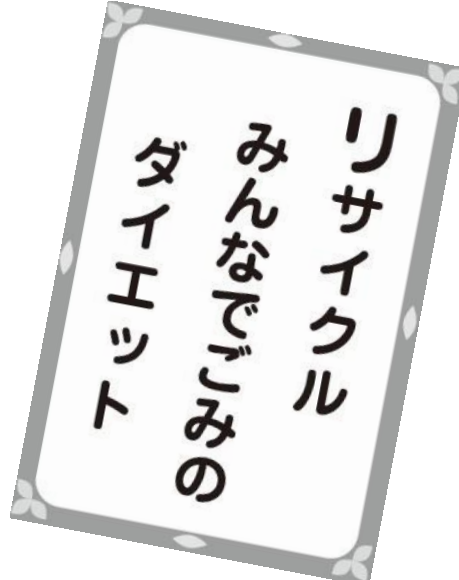


平成30年度 ごみ減量・もったいないねット山形 総会

日時：平成30年5月30日（水）

午後1時30分～午後4時

会場：山形市役所11階大会議室



（ごみ減量すすむくん・かなえちゃん“かるた”から）

次 第

- 1 開 会
- 2 もったいないアワード2018
- 3 会長挨拶
- 4 市長挨拶
- 5 議長選出
- 6 議 事
 - 第1号議案 平成29年度事業報告（案）及び
収支決算報告（案）について
監査報告
 - 第2号議案 平成30年度事業計画（案）及び
収支予算（案）について
 - 第3号議案 役員改選について
- 7 情報交換 （午後3時頃～）

テーマ：エネルギー回収施設（立谷川）について
～新しい清掃工場ってどんな施設？～
- 8 閉 会

平成 29 年度役員

(平成 2 8 年 5 月 3 0 日選任)

会 長	副会長	幹 事	監 事
金 澤 和 子	長 瀬 洋 子 高 倉 正 則	鹿 野 順 子 齋 藤 淳 鈴 木 隆 男 中 村 明 千 村 中 秀 郎	渡 辺 明 渡 部 和 生

会員数

時点	個 人	団体	事業者	計
設立総会時	3 5 人	1 4 団体	1 3 事業者	6 2
H29. 4. 30	4 9 7 人	4 1 団体	1 8 1 事業者	7 1 9
H30. 4. 30	5 0 3 人	4 1 団体	1 8 1 事業者	7 2 5

平成 29 年度部会体制

部 会	部会長	副部会長
買い物エコフレンド部会	中 村 明 千	早 坂 恵美子 武 田 さおり
5 R 情 報 発 信 部 会	鈴 木 隆 男	上 野 清 子 井 上 英 俊
ご み 減 量 学 習 部 会	齋 藤 淳	佐 藤 弘 子 木 村 榮
広 報 部 会	村 中 秀 郎	伊 藤 美代子 荒 井 安 雄
ごみ減量アドバイザー部会	鹿 野 順 子	齋 藤 正 凱 越 後 恵 美

1 総会・役員会

項 目	区分	期 日	内 容
総 会		5月30日	議案審議、情報交換「フードバンクと食品ロスの削減」
第1回役員会		4月19日	総会議案の協議、総会の進め方について
第2回役員会	拡大	8月25日	部会活動について
第3回役員会		11月29日	会全般及び部会活動について
第4回役員会	拡大	2月 8日	平成29年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第5回役員会		3月14日	平成30年度の事業計画及び総会・第2部情報交換について

2 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン イオンギフトカード寄贈受入	4月11日 6月20日	4/11 イオン山形北店、6/20 マックスバリュ山形駅西口店より寄贈 平成28年度分受領額合計 142,900円
ごみ減量ロビー展 [山形市役所1階エントランスホール]	5月30日 ～6月2日	ブース設置、パネル展示、エコいけばな、ごみ減量等啓発品配布、DVD上映
ごみ減量・もったいないねット山形 ウィンドウディスプレイ	5月25日 ～6月2日	場所：山形市中央駐車場ウィンドウディスプレイ 本会活動のパネル及びエコいけばな作品展示
キャンドルスケープ in 山形 2017 [山形市役所前広場]	6月24日	キャンドルタワー点灯、活動紹介パネル展示
やまがた環境展2017参加 [山形国際交流プラザ]	10月28日 ～29日	主催：やまがた環境展2017実行委員会 ブース出展（パネル展示、ワークショップ、分別クイズ）
ごみ減量もったいないキャンペーン [イオン山形北店]	11月11日	共催：山形市 雑がみ分別、食品トレーリサイクルクイズ
30・10運動啓発用コースター 受入式 [山形市役所 市長応接室]	11月24日	山形市再生資源協同組合（本会会員）、山形環境保全協同組合（本会会員）より、「30・10運動啓発用コースター」20,000枚（それぞれ10,000枚ずつ）が山形市へ寄贈され、山形市と本会が連携して市民へ広く啓発行うため、市長より当会へコースターが進呈された。
第9回ごみ減量すすむくん・かなえちゃんかるた大会共催 [市総合スポーツセンター武道場]	2月17日	主催：山形中央ライオンズクラブ[本会会員] 共催：本会、NPO法人まちづくり山形[本会会員]、山形センチュリーライオンズクラブ 後援：山形市、山形市教育委員会
第10回やまがた市民活動まつり参加 [霞城セントラル1階アトリウム]	2月18日	活動紹介、展示ブース、ステージ発表（イメージソング健康体操発表） 主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会
広報やまがた掲載（山形市発行）	随 時	特集記事 会の活動紹介、アドバイザー派遣事業紹介
ラジオ広報出演 [ラジオモンスター(本会会員)]	毎週水曜	山形コミュニティー放送、市環境部番組枠「山形エコシティー」に各部会で出演、計10回



(30・10運動啓発用コースター受入式)



(やまがた市民活動まつり)

3 各事業部会

部会ごとにスタッフが主体となり、企画・準備から各事業実施までを行った。

(1) 買い物エコフレンド部会 企画会議：4回

食品用容器の店頭回収や雑がみリサイクルの取組み、簡易包装の推進などについて、消費者・事業者・行政が連携したごみ減量とリサイクルの推進を目指し、啓発活動を行った。
また、キャンペーン時配布用啓発品として「家庭の食品ロス削減啓発用ポケットティッシュ」を作成し、イベント等で配付した。

項 目	期 日	摘 要
① ごみ減量ロビー展への協力	5月30日 ～6月2日	会場：山形市役所エントランスホール 内容：ごみ減量・もったいないねット山形活動紹介、食品トレー・雑がみリサイクル啓発キャンペーン
② 食品トレーリサイクルキャンペーン	6月7日 ～7月1日	会場：市内スーパー 5店舗 内容：食品トレー・透明容器の店頭回収の呼びかけ、啓発品の配布 (事業者・山消連・山形市との連携)
③ 雑がみリサイクル・簡易包装推進キャンペーン	10月6日 ～25日	会場：市内スーパー 7店舗 内容：雑がみリサイクル・簡易包装推進の呼びかけ、啓発品の配布 (事業者・山消連・山形市との連携)
④ ごみ減量もったいないキャンペーンへの協力	11月11日	会場：イオン山形北店 内容：雑がみ分別クイズ、食品トレーリサイクルクイズ、啓発品の配布
⑤ キャンペーン時配布品の作成・配付	6月～12月	家庭の食品ロス削減啓発用ポケットティッシュ作成・配布

【延べ 89名スタッフ協力】



(食品トレーリサイクルキャンペーン
イオン山形南店)



(雑がみリサイクル・簡易包装キャンペーン
コープひがしはら)



(家庭の食品ロス削減啓発用ポケットティッシュ作成)

(2) 5 R情報発信部会 企画会議：4回

市内事業者等の情報を取材等により収集し、個人向けごみ減量を目的としたツールとして、市内のリペアショップやリサイクルショップ等に関する情報を掲載した「もったいないマップ Ver. 5」を作成した。さらに、「もったいないマップ Ver. 5」をホームページに公開し情報発信を行った。

項 目	期 日	摘 要
① 各種団体等の情報収集	6月～	対象：市内の事業者、各種団体、NPO等
② SNS(ソーシャルネットワークサービス)・ホームページによる情報発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
③ もったいないマップ Ver. 5の作成	8月～3月	作製枚数：4,000部 配布、ホームページで公開

【延べ 39名スタッフ協力】



(企画会議)



(取材風景)



(もったいないマップ Ver. 5)

(3) ごみ減量学習部会 企画会議：5回

ごみ処理の現状を学び、また、資源の再利用方法を体験し、地域や職場等においてごみ減量等の取組みを広めるため、学習会を実施した。多数の参加があり、個人会員の獲得が図られた。

項 目	期 日	摘 要
① ごみ減量学習会	6月20日	参加者数：66人 くらしのダイエット～生ごみ活用法・土作り編 講師：畠山優子アドバイザー
② リサイクルツアー	10月 5日	参加者数：61人 ㈱丹野エコプラザ、エコ堆肥使用の畑、立谷川リサイクルセンター
③リサイクル体験教室	11月30日	参加者数：38人 「エコクッキング教室」 講師：ごみ減量アドバイザー部会 今田みち子さん
	12月 6日	参加者数：27人 「エコクッキング教室」 講師：ごみ減量アドバイザー部会 今田みち子さん

【延べ 137名スタッフ協力】



(企画会議)



(ごみ減量学習会)



(リサイクルツアー

㈱丹野エコプラザで製造されたエコ堆肥を使用している畑を見学)



(エコクッキング教室)

(4) 広報部会 企画会議：5回

会や会員の活動情報及びごみ減量等の取り組みについて、情報発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めるため、フェイスブック更新や情報誌の発行を行った。

また、「30・10運動～家庭編～」の実践を啓発するための「冷蔵庫貼付用マグネットシート」を作成した。

さらに、ホームページの更新を行い、「30・10運動」関連ページ等を追加した。

項 目	期 日	摘 要
① フェイスブック・ホームページによる情報発信	随 時	会の活動、ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
② ホームページの更新	12月	「30・10運動」関連ページ、もったいないマップ Ver.5等の追加
③ 情報誌の発行	11月、3月	第21号、第22号 各4,000部
④ 冷蔵庫貼付用マグネットシートの作成	9月～1月	作成枚数：1,800枚
⑤ 各種取材	随 時	全体・各部会事業に参加し取材を行う

【延べ 50名スタッフ協力】



(企画会議)



(情報誌)



(冷蔵庫貼付用マグネットシート)

(5) ごみ減量アドバイザー部会 企画会議：4回

ごみの減量や資源の再利用の必要性、実践方法を広めるため、本会会員の中から「ごみ減量アドバイザー」を登録し、市内の各任意団体やPTAを含む学校などが主催する「ごみ減量に関する学習会」に派遣した（計18回、延べ726名参加）。
また、山形市との共催により「もったいないアカデミー」を開催し、市民の方にごみ減量の方法をお伝えした。

項 目	期 日	参加人数	摘 要
①派遣制度のPR	随 時	—	チラシ、広報やまがた（9／1号）、ラジオ等
②新規アドバイザー募集	6 月	—	
③スキルアップ研修会 及び情報交換会	7月25日（火）	12名	アドバイザーのための研修会
⑤アドバイザー 派遣	5月8日（月） 〔市立第九中〕	12名	第九中学校総合文化部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	5月26日（金） 〔市立第一中〕	15名	第一中学校総合文化部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	6月 8日（木） 〔消費生活センター〕	7名	月よう会 「地産地消デコ巻きずし」
	6月10日（土） 〔イオン山形北店〕	9名	イオンチアーズクラブ 「身近な食品ロスについて」
	6月20日（火） 〔市役所大会議室〕	66名	ごみ減量学習部会 「生ごみ減量講座 くらしのダイエット ～生ごみ活用法・土づくり編」
	6月24日（土） 〔市立宮浦小〕	76名	宮浦小学校2学年親子行事 「マイはし作りを通して環境を学ぼう」
	6月24日（土） 〔市立第二小〕	127名	第二小学校つばさ学年PTA親子行事 「マイはし作りを通して環境を学ぼう」
	7月31日（月） 〔肴町1区公民館〕	21名	肴町1区いきいきサロン 「身近な食品ロスについて」
	9月 3日（日） 〔本沢コミセン〕	30名	本沢小学童（こんぺいとう父母の会） 「マイはし作りを通して環境を学ぼう」
	9月13日（水） 〔成沢6町内会集会所〕	10名	コープ虹の会 「フライパンでつくる料理」
	9月15日（金） 〔JAやまがた本店〕	15名	JAやまがた山形地区女性部① 「地産地消デコ巻きずし」
	10月 1日（日） 〔市立山寺小〕	60名	山寺小学校3・4・5・6学年合同親子行事 「マイはし作りを通して環境を学ぼう」
	10月14日（土） 〔県男女共同参画センター〕	200名	フラワーキッズ父兄会 「チェリアフェスティバル2017 楽しく 楽しいエコいけばなX」
	10月24日（火） 〔JAやまがた本店〕	20名	JAやまがた山形地区女性部② 「地産地消デコ巻きずし」
	11月25日（土） 〔市立蔵王第二小〕	28名	蔵王第二小学校第3学年行事 「マイはし作りを通して環境を学ぼう」
	11月30日（木） 〔市保健センター〕	41名	ごみ減量学習部会 「エコクッキング 第1回」
	12月 6日（水） 〔市保健センター〕	34名	ごみ減量学習部会 「エコクッキング 第2回」
	2月19日（月） 〔元木公民館〕	16名	年金協会第一支部女性部（こまくさ会）① 「風呂敷活用法・かんたん佃煮」
	3月19日（月） 〔元木公民館〕	5名	年金協会第一支部女性部（こまくさ会）② 「牛乳パックでおもちや作り」
⑥もったいない アカデミー	1月30日（火） 2月 6日（火） 〔市役所大会議室〕	58名 51名	「誰でも簡単!おいしい『あと1品レシピ』紹介」 「捨てないで!ひと手間プラスで野菜を再生」 「食品容器のリサイクルは難しい?あなたの 疑問にお答えします!」

【延べ 79名スタッフ協力】



(楽しく楽しいエコいけばな)



(マイはし作り)



(デコ巻きずし)



(食品ロスについて)



(もったいないアカデミー
～誰でも簡単！
おいしい「あと1品レシピ」紹介～)



(もったいないアカデミー
～捨てないで！
ひと手間プラスで野菜を再生～)



(もったいないアカデミー
～食品容器のリサイクルは難しい？
あなたの疑問にお答えします～)

平成29年度収支決算報告（案）
（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

収 入 の 部

（単位：円）

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 額 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,600,000	1,600,000	0	
	山形市補助金	1,600,000	1,600,000	0	山形市より
その他収入		64,000	63,857	143	
	繰越金	29,350	29,350	0	28年度より
	その他収入	34,650	34,507	143	学習会参加費、預金利子
合 計		1,664,000	1,663,857	143	

支 出 の 部

（単位：円）

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 額 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
管理費		475,000	464,645	10,355	
	会議費	240,000	232,827	7,173	資料印刷費
	事務費	115,000	112,266	2,734	事務用品、OA機器リース料
	通信費	120,000	119,552	448	資料等送付費
事業費		1,184,000	1,168,913	15,087	
	広報事業費(広報部会)	324,000	323,254	746	HP管理費・更新費、情報誌発行
	実践活動事業費	825,000	810,659	14,341	
	(買い物エコフレンド部会)	120,000	118,234	1,766	食品トレイ等リサイクルキャンペーン、 キャンペーン用啓発品作成
	(5R情報発信部会)	155,000	152,342	2,658	もったいないマップVer.5作成
	(ごみ減量学習部会)	210,000	208,621	1,379	ごみ減量学習会、リサイクルツアー、 エコクッキング教室
	(ごみ減量アドバイザー部会)	180,000	175,534	4,466	アドバイザーの派遣 もったいないアカデミーの開催
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	160,000	155,928	4,072	食べ残し削減啓発グッズ作成、 かるた大会参加賞等
	減量すすむくん基金 操出金	35,000	35,000	0	
	予備費	5,000	0	5,000	
合 計		1,664,000	1,633,558	30,442	

収入金額 1,663,857 円
支出金額 1,633,558 円
差引金額 30,299 円(平成30年度に繰り越し)

【特別会計】平成２９年度減量すすむくん基金収支決算報告（案）
 （平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 額 (A)-(B)	摘要
ごみ減量すすむくん寄付金	9,693	10,428	△ 735	減量すすむくん着ぐるみクリーニング代充当 を目的として
その他収入	35,307	35,307	0	
繰越金	307	307	0	28年度より
繰入金	35,000	35,000	0	減量すすむくん基金繰出金より
合 計	45,000	45,735	△ 735	

支出の部

（単位：円）

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 額 (A)-(B)	摘要
着ぐるみクリーニング費	45,000	45,036	△ 36	
合 計	45,000	45,036	△ 36	

収入金額 45,735 円
 支出金額 45,036 円
 差引金額 699 円（平成30年度に繰り越し）

監 査 結 果 報 告 書

平成29年度ごみ減量・もったいないねット山形の収支決算について、関係帳簿、
預金通帳等を監査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されておりましたので、
報告します。

ごみ減量・もったいないねット山形
会 長 金澤 和子 様

平成30年4月9日

ごみ減量・もったいないねット山形

監 事 渡辺 明 

監 事 渡部 和生 

平成30年度事業計画（案）

1 運営方針

- ◎ 5つのR（リフューズ〔Refuse：辞退〕、リデュース〔Reduce：発生抑制〕、リユース〔Reuse：再使用〕、リペア〔Repair：修理〕、リサイクル〔Recycle：再生利用〕）を推進する取り組みを市内全域に広めます。
- ◎ 物を大事に、感謝する心、リスペクト【Respect】を大切にライフスタイルやビジネススタイルを見直します。
- ◎ 会や会員の情報を発信・共有し、会員や活動の輪を広げます。
- ◎ 「もったいない」という共通の認識のもとに、会員の声を聞き、開かれた運営を行います。

2 総会・役員会

項 目	区分	期 日	内 容
総 会		5月30日	議案審議、情報交換
第1回役員会		4月16日	総会議案の協議、総会の進め方について
第2回役員会	拡大	8月	部会活動について
第3回役員会		11月	会全般及び部会活動について
第4回役員会	拡大	1月	平成30年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第5回役員会		3月	平成31年度の事業計画及び総会の進め方について

3 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
ごみ減量ロビー展	5月29日～ 6月 1日	会場：山形市役所1階エントランスホール 内容：エコいけばな展示、雑がみ・食品トレー リサイクルキャンペーン、会員企業紹介
ごみ減量・もったいないねット山形ウィンドウディスプレイ	5月～6月	山形市中央駐車場ウィンドウディスプレイにおける本会の活動紹介
やまがた環境展2018参加	10月	会場：山形国際交流プラザ 主催：やまがた環境展2018実行委員会 「環境活動・啓発・体験ゾーン」にブース出展 パネル展示、ワークショップ、分別クイズ実施
第10回ごみ減量すすむくん・かなえちゃんかるた大会	2月	かるた大会 会場：市総合スポーツセンター武道場 主催：山形中央ライオンズクラブ 共催：本会、NPO法人まちづくり山形 後援：山形市、山形市教育委員会
第11回やまがた市民活動まつり参加	2月	ごみ減量・もったいないねット山形活動紹介 会場：霞城セントラル1階アトリウム 主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会 共催：山形市、山形市市民活動支援センター
広報やまがた掲載（山形市発行）	随 時	特集記事 会の活動紹介等

4 各事業部会

(1) 買い物エコフレンド部会

店頭回収の取組みや簡易包装の推進など、事業者と消費者が取り組める行動の情報を共有します。また、買い物袋持参の拡大・定着等の取組みを通し、消費者・事業者・行政という皆が連携したごみ減量とリサイクルの推進を目指します。

項 目	期 日	摘 要
①ごみ減量ロビー展への参加	5月29日～ 6月 1日	食品用容器や雑がみのリサイクル啓発キャンペーン、分別クイズ
②食品トレイ・ペットボトル TO トレーリサイクルキャンペーン	6月～7月	市内スーパーにて食品トレイ・透明容器の店頭回収の呼びかけ、啓発品の配布
③雑がみリサイクルキャンペーン	10月	市内スーパー・百貨店にて雑がみリサイクル・簡易包装推進の呼びかけ、啓発品の配布
④ごみ減量もったいないキャンペーンへの協力	11月	市内大型総合スーパーの周年祭にて食品用容器・雑がみのリサイクルの呼びかけ、分別クイズ
⑤キャンペーン啓発品作成	6月～10月	キャンペーン時配布用啓発品を作成

(2) 5R情報発信部会

市内のNPO、各種団体、事業者団体等のごみ減量や資源の再利用の取組みについて、情報を収集・発信し、消費者及び事業者が利用できるごみ減量等の取組み拡大を目指します。

項 目	期 日	摘 要
①各種団体等の情報収集	6月～3月	対象：市内の事業者、各種団体、NPO等
②SNS（ソーシャルネットワークサービス）・ホームページによる情報発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
③情報発信ツールの作成	6月～3月	ごみ減量や資源再利用に活用

(3) ごみ減量学習部会

ごみ処理の現状を学び、また、資源の再利用方法を体験し、地域や職場等においてごみ減量等の取組を実践します。

項 目	期 日	摘 要
①ごみ減量学習会	6月22日	堆肥を活用した家庭菜園の実践 講師：畠山 優子アドバイザー
②リサイクル関連施設研修会	10月 5日	
③リサイクル体験教室	11月21日 11月29日 12月 6日	エコクッキング教室 場所：中央公民館

(4) 広報部会

情報誌や様々な情報媒体を通して、会や会員の活動情報やごみ減量等の情報を発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めます。

項 目	期 日	摘 要
①フェイスブック・ホームページによる情報発信	随 時	会の活動、ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
②情報誌の発行	1 1 月、3 月	第 2 3 号、第 2 4 号 各 4, 0 0 0 部
③ごみ減量啓発グッズの作成	6 月～1 1 月	食品ロス削減啓発グッズの作成
④各種取材	随 時	全体・各部会事業に参加し取材を行う

(5) ごみ減量アドバイザー部会

ごみの減量や資源の再利用の必要性や実践方法を会員自らが学び、地域や学校等においてごみ減量の取組みを広めます。

項 目	期 日	摘 要
①アドバイザー派遣	随 時	地域の集まりや学校など
②新規アドバイザー募集	5 ～ 6 月	
③スキルアップ研修会および新規アドバイザー登録証交付式	7 月	アドバイザー登録のための研修会
④もったいないアカデミー開催	1 月～2 月	山形市と共催、2 回実施
⑤アドバイザー派遣制度の周知	随 時	チラシ、広報やまがた等

平成30年度収支予算（案）
（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目		30年度 予算額 (A)	29年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,600,000	1,600,000	0	
	山形市補助金	1,600,000	1,600,000	0	山形市より
その他収入		64,000	64,000	0	
	繰越金	30,299	29,350	949	29年度より
	その他収入	33,701	34,650	△ 949	学習会参加費、預金利子
合 計		1,664,000	1,664,000	0	

支出の部

（単位：円）

科 目		30年度 予算額 (A)	29年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
管理費		475,000	475,000	0	
	会議費	240,000	240,000	0	資料印刷費等
	事務費	115,000	115,000	0	事務用品、OA機器リース、障害保険料
	通信費	120,000	120,000	0	総会等資料送付費
事業費		1,184,000	1,184,000	0	
	広報事業費(広報部会)	351,000	324,000	27,000	HP管理更新、情報誌印刷・郵送費等
	実践活動事業費	798,000	825,000	△ 27,000	
	(買い物エコフレンド部会)	120,000	120,000	0	食品トレー等リサイクルキャンペーン キャンペーン用減啓発品作成
	(5R情報発信部会)	128,000	155,000	△ 27,000	5R情報啓発品作成 各種団体等の情報収集
	(ごみ減量学習部会)	210,000	210,000	0	ごみ減量学習会、リサイクル関連施設 研修会、エコクッキング教室開催
	(ごみ減量アドバイザー部会)	180,000	180,000	0	アドバイザー派遣 もったいないアカデミーの開催
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	160,000	160,000	0	食品ロス削減啓発品作成 ごみ減量かるた大会参加賞等
	減量すすむくん基金 操出金	35,000	35,000	0	
予備費		5,000	5,000	0	
合 計		1,664,000	1,664,000	0	

【特別会計】平成30年度減量すすむくん基金収支予算（案）

（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目	30年度 予算額 (A)	29年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
ごみ減量すすむくん寄付金	9,301	9,693	△ 392	減量すすむくん着ぐるみクリーニング代充当 を目的として
その他収入	35,699	35,307	392	
繰越金	699	307	392	29年度より
繰入金	35,000	35,000	0	減量すすむくん基金繰出金より
合 計	45,000	45,000	0	

支出の部

（単位：円）

科 目	30年度 予算額 (A)	29年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
着ぐるみクリーニング費	45,000	45,000	0	
合 計	45,000	45,000	0	

第3号議案

役員改選について
(任期：平成30年度総会～平成32年度総会)

新役員	
役職名	氏 名
会 長 (1 人)	
副会長 (若干名)	
幹 事 (10 人以内)	
監 事 (2 人)	

ごみ減量・もったいないねット山形 規約

(名称)

第1条 この会は、「ごみ減量・もったいないねット山形」(以下「会」という。)という。

(目的)

第2条 この会は、市民、事業者、行政が、山形市域におけるごみの減量及び資源の再利用(以下「ごみ減量等」という。)を推進するために、共に考え、実践し、相互に協力・連携を図り、循環型社会の形成をめざす。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) ごみ減量等のための情報発信
- (2) ごみ減量等のための実践活動
- (3) その他、この会の目的を達成するための必要な事業

(会員)

第4条 この会の会員は、市民、市民団体、事業者、事業者団体及び山形市で構成する。

(入会・退会)

第5条 入会しようとする者は、入会申込書を提出することとする。

2 退会するときは、退会届を提出することとする。

(役員)

第6条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干名
- (3) 幹事 10人以内
- (4) 監事 2人

(役員を選任)

第7条 役員は、総会において会員のうちから選任する。

2 副会長のうち、1人は山形市のごみ減量を所管する部長が務める。

3 前条にあげる役員は、相互に兼ねることができない。

(役員の職務)

第8条 会長は、この会を代表し、業務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 幹事は、会長の指示により、会務を処理する。

4 監事は、会計を監査し、その結果を会に報告する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(アドバイザー)

第10条 この会に、アドバイザーを置くことができる。

2 アドバイザーは、必要に応じ会長が依頼する。

(総会)

第11条 総会は、毎年1回会長が招集する。ただし、必要に応じ臨時総会を開催することができる。

2 総会の議長は、総会出席会員の中から選出する。

(総会の定足数)

第12条 総会は、会員の過半数の出席がなければ開催することができない。

ただし、委任状を提出した者は出席者とみなす。

(経費)

第13条 この会の経費は、市の補助金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 会は、事業年度開始の日から総会の日までの本会予算について、前年度の収支予算に準じて執行することができる。

(議決事項)

第15条 総会は、次の事項を議決する。

(1) 規約の変更

(2) 事業計画および収支予算

(3) 事業報告および収支決算

(4) その他、この会の運営に関する重要な事項

(議決)

第16条 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(役員会)

第17条 役員会は、会長、副会長、及び幹事をもって構成し、必要に応じ会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長とする。

3 役員会は、総会に付議する事項、会の運営に関する事項等を審議する。

4 役員会は、その他会長が必要と認めた事項について協議し、事業を運営する。

(事務局)

第18条 当分の間、事務局を山形市のごみ減量を担当する課に置く。

(委任)

第19条 この規約に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、役員会において別に定める。

附 則

1 この規約は、平成18年12月16日から施行する。

2 この会の設立当初の役員の任期は、第9条1項の規定にかかわらず、成立の日から平成20年総会の日までとする。

3 この規約は、平成21年5月30日から施行する。

4 この規約は、平成22年5月30日から施行する。



みんなでごみ減量・リサイクルに取り組もう!

市民の皆さんのごみ減量に対する意識の高まりにより、古紙類のリサイクルや食品トレー店頭回収等の取り組みが広がっています。しかし、ごみの中にはまだまだ減らせるものが含まれています。さらなるごみ減量のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

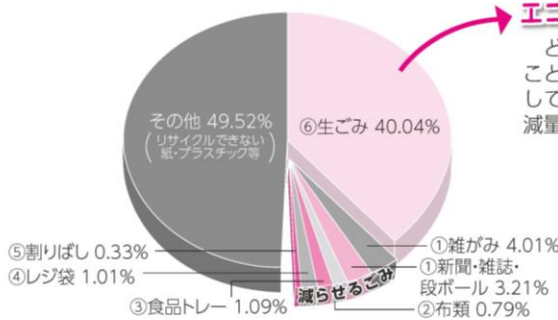
☎ごみ減量推進課 ☎内線698

もやせるごみに含まれる資源物の推移

家庭系もやせるごみ組成分析（山形市調査）



〈家庭から出されるもやせるごみの内訳（重量ベース）〉（平成29年度山形市調査）



エコでお得な“やさしい事業”を利用しませんか？

どうしても発生してしまう“生ごみ”を肥料として土に戻すことも大事なポイント。電気式（乾燥式）生ごみ処理機を活用して、“生ごみやさいくろ”に参加して楽しく、お得に生ごみ減量に取り組みましょう。

生ごみを電気式（乾燥式）生ごみ処理機で処理し、【乾燥生ごみ】にする

【乾燥生ごみ】を分別して1kgずつ透明袋に入れる

交換場所で5ポイントにつき500円相当の新鮮野菜と交換！

回収場所で1kgにつき1ポイントがもらえる

ごみ減量ワンポイント ～ごみの中にはまだまだ“もったいない”がいっぱい！～

① 雑がみなどの紙類	雑がみとは、新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外のリサイクルできる紙（空き箱、包装紙、パンフレットなど）です。雑がみ、新聞、雑誌、段ボールはおのこの分別して集団資源回収やごみ集積所（ペットボトルの収集曜日）に出してください。
② 布類	ボタンやファスナーは取らずに集団資源回収に出してください（もやせるごみに出す場合はボタンやファスナーは取り除いてください）。また、資源物引取事業所へ持ち込むこともできます。
③ 食品トレー	スーパーでは環境に配慮した取り組みとして、食品トレーの回収をしています。トレーはかさばるので分別すれば、ごみ減量効果は絶大です。透明トレーや発泡トレーの店頭回収にご協力ください。
④ レジ袋	平成20年のレジ袋無料配布中止の取り組み開始により、ごみとして捨てられるレジ袋は減ってきています。また、スーパー・百貨店でのマイバッグ持参率は約90%という高い数値です。スーパー・百貨店だけではなくコンビニエンスストアやホームセンター、ドラッグストアなどでの買い物の際も、マイバッグの持参をお願いします。
⑤ 割りばし	マイはしを上手に活用し、使い捨てのライフスタイルを見直しましょう。繰り返し使えるエコボトルや食器等を使用する習慣付けが大切です。
⑥ 生ごみ	水切りの徹底で生ごみの重さを減らすことができます。また、肥料として土に戻すこともお勧めです。生ごみ処理機の購入補助制度をご利用ください（詳しくは、ごみ減量推進課にお問い合わせください）。

食べ残しはもったいない！ ～「30・10運動」で食品ロス削減に取り組みましょう～

「食品ロス」とは、まだ食べられる状態にもかかわらず廃棄される食品のことで、日本の食品ロスは年間約621万トンと推計されています。（農林水産省平成26年度推計）これは、製造過程で発生する規格外品や売れ残り、飲食店での食べ残し、家庭における食べ残しや食材の余りが主な発生原因とされています。

今回は、「宴会」と「家庭」における「30・10運動」を紹介します。

宴会で！

さんまる

いちまる

30・10運動で食べ残し削減！

年末年始の忘新年会シーズン、運動を実践いただいた方も多いのではないのでしょうか。これから春にかけても、送別会や歓迎会等、宴会の多いシーズンです。今後も、宴会でぜひ30・10運動を実践し、楽しくおいしく料理をいただきながら食べ残しを減らしましょう。

30・10運動はどのように実践するの？

食べられる量を注文しましょう。

乾杯後30分間は席を立たずに料理を楽しみましょう。

お開き前の10分間は自分の席に戻って料理を楽しみましょう。



<30・10運動啓発用コースター>

家庭でも！

さんまる

いちまる

30・10運動～家庭編～を実践してみませんか？

冷蔵庫の中から食べられなくなった食品が出てきて、「もったいない」と思いながらごみに捨ててしまう…、そんな経験はありませんか？

こんなものが多いのでは？

冷蔵庫の中にあつたもので、捨ててしまったものってどんなもの？

- 食べられなくなった「ごはんのお供」（鮭フレークや海苔の佃煮等）
- 使い切れなかった「調味料」（タレ、ソース等）
- 食べられなくなった「作り置きのおかず」
- 使いきれなかった「お肉や野菜」（在庫があるのに忘れて過剰に購入したもの、料理の残り等）

どの食材も、傷む前に気付くことができたら捨てずに済んだかもしれません。例えば、食べきれない分は冷凍保存する、冷蔵庫内の在庫を確認し過剰購入を防ぐ等、少しの工夫で食品ロスになることを防ぐことができます。



実はこんなに多い！
食品ロスの約半分は家庭から出ています！

日本における食品ロスの約半分（年間約282万トン）は家庭から出ています。この量は、世界中で飢餓に苦しむ人に向けた世界の食糧援助量（平成26年度で年間約320万トン）に迫る深刻な状況です！食品ロスの削減には、家庭での食べ残しや食材の余りを減らすことがとても重要です。

家庭の食品ロス削減のため、30・10運動～家庭編～を実践してみませんか？

どんな運動？

30日と10日を冷蔵庫チェックデーとし、冷蔵庫の中を定期的に整理することを習慣化していただくことで、食品ロス削減に取り組む運動です。まだ食べられる食材を無駄にせず、おいしくいただきましょう！



<冷蔵庫貼付用マグネットシート>

山形市は、市民団体「ごみ減量・もったいないねット山形」と一緒に「30・10運動」に取り組んでいます。30・10運動啓発用「コースター（宴会編）」「冷蔵庫貼付用マグネットシート（家庭編）」を配布しています。詳しくは、ごみ減量推進課へお問い合わせください。

第二部情報交換

テーマ：エネルギー回収施設（立谷川）について ～新しい清掃工場ってどんな施設？～

講師：山形広域環境事務組合 エネルギー回収施設（立谷川）業務係 係長 佐藤和裕氏
管理課 建設第二係 係長 木島昭氏

MEMO：

